

カツオ年間水揚げ額1位!
「佐賀明神丸」「福吉丸」表彰

黒潮町では、町の水産業に大きく貢献したとして、第83佐賀明神丸と第28福吉丸へ優秀船表彰を授与しました。(福吉丸は2年連続。)

▼第83佐賀明神丸(佐賀)

「近海カツオ一本釣り中型船の部」で、全国56隻ある20トン以上の船の中で唯一漁獲量20000トン超えを記録し日本一に。水揚金額も14年ぶりに6億円を超え、歴代2位につけました。



漁労長・明神学武さん(中央)と代表取締役・明神正一さん(左)。

▼第28福吉丸(上川口)

同「小型船の部(19トン)」で、黒潮町船隻の中で2年連続の1位。水揚金額も去年より2400万円多い3億4000万円を記録しました。



船主・坂本年史さん(中央)と機関長・山岡憲さん(左)。

(水産振興係)

今年も大漁!カツオ船団出港



2月上旬、家族や関係者に見送られ、勇ましく出港するカツオ一本釣り船。

「冬来たりなば春遠からじ」。希望の季節を迎え、町の基幹産業の中核をなすカツオ一本釣り船団が、家族や町民の熱い期待を乗せて佐賀漁港を出港しました。

長引く漁価の低迷や燃油の高騰など、国内外で厳しい状態が続いています。各船は、航海の安全と大漁を祈願し、港内で蓄養している活餌(かづし)を積み込み、カツオの群れを追いかけて日本近海の漁場へ向かいました。



(水産振興係)

女性限定トラクター教室 in 北郷



トラクターで田んぼを一往復。参加者全員に初心者コースの修了証書が渡されました。

1月25日、集落活動センター北郷で「女性限定トラクター運転教室」が行われ、北郷地区内外から23人が参加しました。まず、幡多農業振興センターの職員が集落営農について説明。その後、四国クボタ大方営業所の方に操作方法を教わりながら、田んぼでトラクターや管理機を操作しました。

最初はこわごわトラクターに乗っていた参加者も、操作に慣れると「もっと乗ってみたい」と意欲を見せていました。

またこの日は、教室に参加する女性に代わり、地区の男性らが昼食を用意。かき揚げうどんやおにぎり参加者をもてなしました。

若山楮で卒業証書づくり



6年生から順に紙漉きに挑戦。しわにならないように、型枠をにぎる手に力が入ります。

地元特産の若山楮を使った卒業証書作りが、佐賀・伊与喜・拳ノ川の3つの小学校で行われました。

1月30日には、拳ノ川小学校の6年生4人と5年生5人が挑戦。佐賀北部地域協議会のメンバーで紙漉き職人の中嶋久実子さんの指導のもと、児童らは1枚1枚丁寧に和紙を漉いていました。

6年生は「卒業証書として一生残るけん上手に漉きたかったけど難しかった」「できあがるのが楽しみ」などと話していました。

各校の校章の透かしが入った、手漉き和紙の卒業証書は、今後、内容を印刷し、3月の卒業式で授与されます。